

# 「企業の借入状況と中小企業向け新融資制度」について

～ 県内企業の借入の満足度は高い～

## はじめに

日本経済は、米欧の金融危機に伴い、株価の下落、急激な円高が進むなど厳しい状態が続くものと予想されている。また、原油・原材料価格高騰により収益状況が悪化し、さらに輸出不振、消費低迷などにより売上が減少し、資金繰りも悪化している企業が増加している。

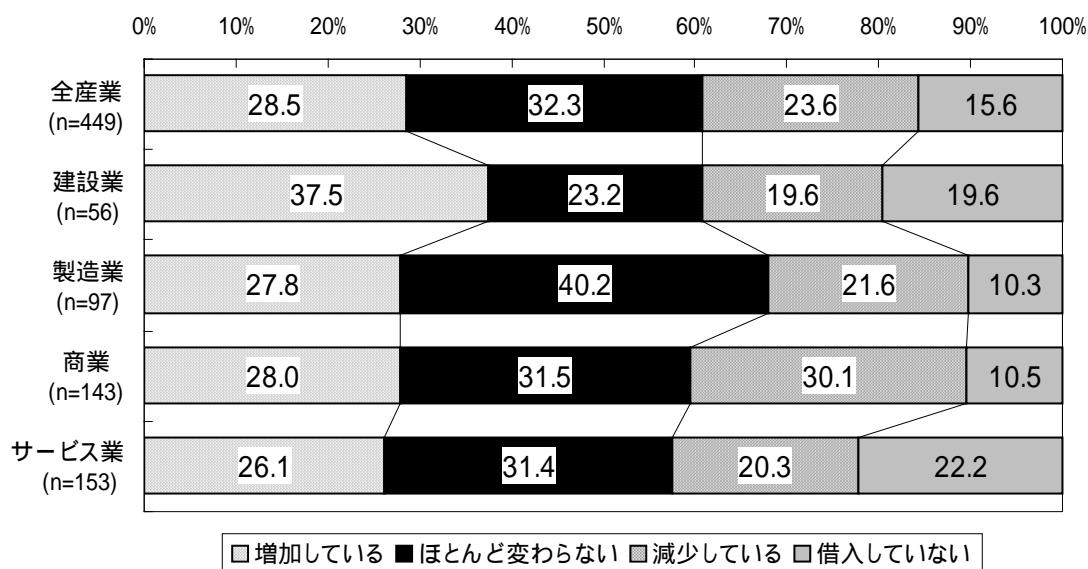
和歌山県でも平成 20 年 11 月から県内中小企業者の資金繰りを支援する新融資制度が実施されている。今回は、「企業の借入状況と中小企業向け新融資制度」について調査・分析を行った。

## 最近 1 年間における借入金額の変化について

全産業では、「ほとんど変わらない」が 32.3%と最も多く、「増加している」が 28.5%に対して、「減少している」が 23.6%となっており、「増加している」が「減少している」を 4.9 ポイント上回っている。

産業別で見ると、建設業で「増加している」の割合が高くなっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
増加している	128	21	27	40	40
ほとんど変わらない	145	13	39	45	48
減少している	106	11	21	43	31
借入していない	70	11	10	15	34
合計	449	56	97	143	153

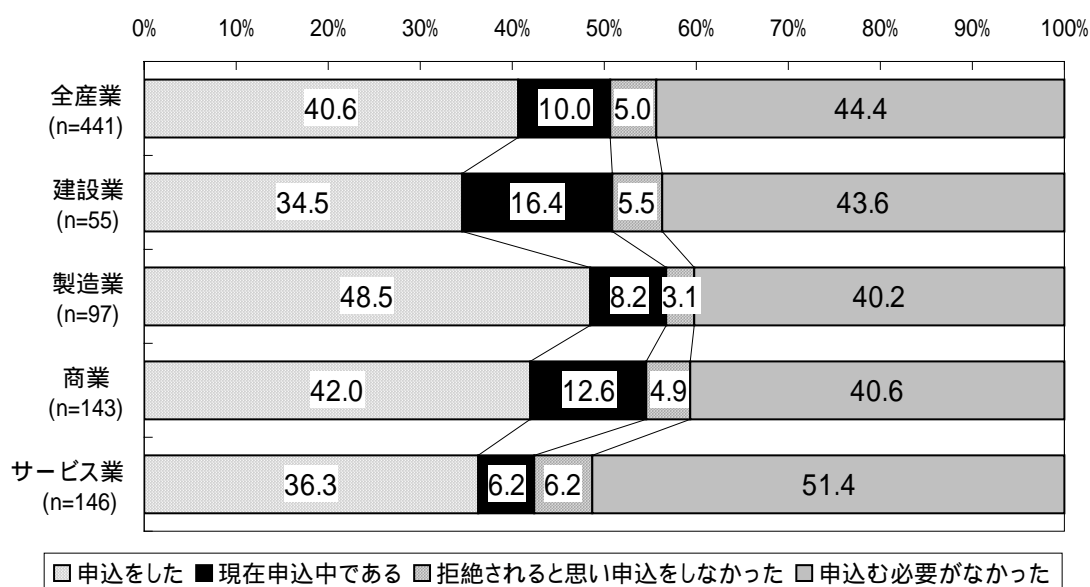


### 最近6ヶ月間における借入申込の状況について

全産業では、「申込む必要がなかった」が44.4%と最も多く、一方で「申込をした」(40.6%)と「現在申込中である」(10.0%)を合わせると50.6%となり、最近6ヶ月以内に5割以上の企業が借入の申込を行っている。

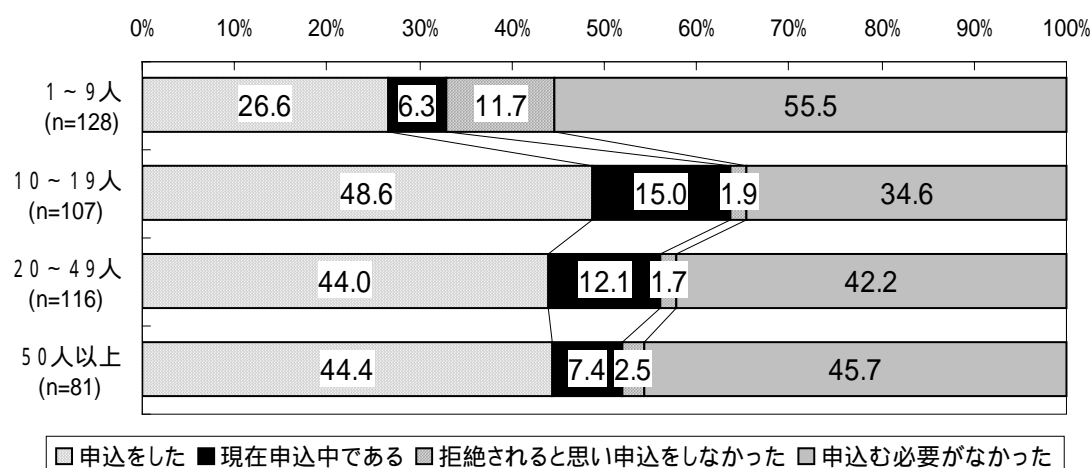
産業別で見ると、建設業、製造業、商業では最近6ヶ月以内に借入の申込をした企業が5割を超えており、製造業では56.7%と最も多くなっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
申込をした	179	19	47	60	53
現在申込中である	44	9	8	18	9
拒絶されると思い申込をしなかった	22	3	3	7	9
申込む必要がなかった	196	24	39	58	75
合計	441	55	97	143	146



企業の人員別に見ると、「1～9人」では「拒絶されると思い申込をしなかった」(11.7%)と「申込む必要がなかった」(55.5%)が高い割合となっている。

	1～9人	10～19人	20～49人	50人以上	合計
申込をした	34	52	51	36	173
現在申込中である	8	16	14	6	44
拒絶されると思い申込をしなかった	15	2	2	2	21
申込む必要がなかった	71	37	49	37	194
合計	128	107	116	81	432



### 借入の満足度について

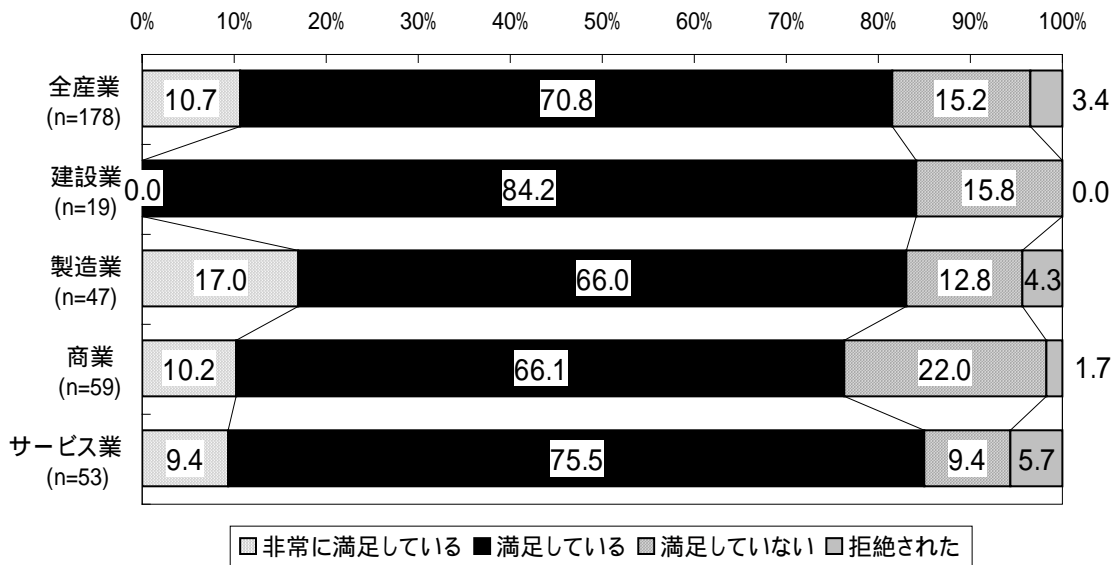
#### ( の問で「申込をした」と回答した企業からの回答)

全産業では、「満足している」が 70.8%と最も多く、「非常に満足している」(10.7%)と「満足している」を合わせると 81.5%となり、借入についての満足度は高いと思われる。

産業別で見ると、商業で「非常に満足している」(10.2%)と「満足している」(66.1%)を合わせると 76.3%となり、他の業種に比べ満足度が低い。

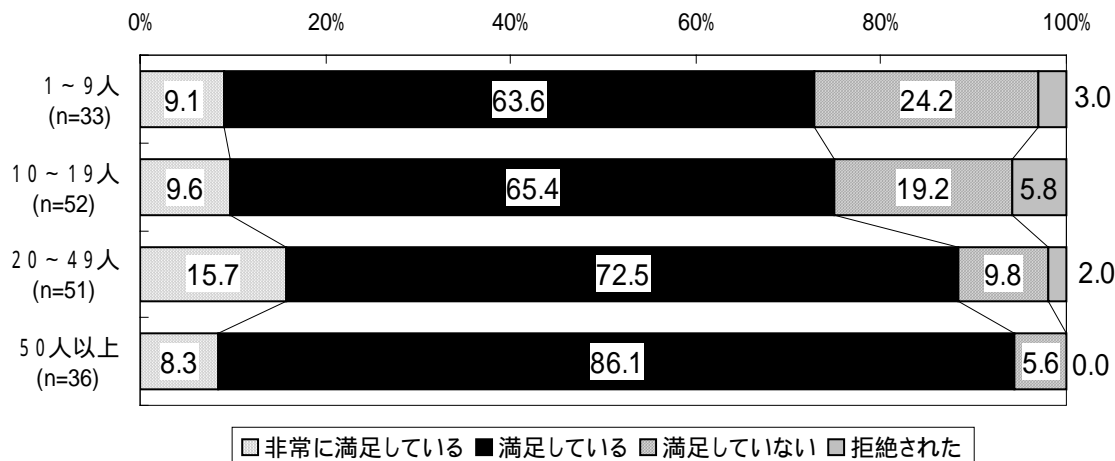
また、拒絶された理由として、「借入残高が多い」や「業績悪化」などであった。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
非常に満足している	19	0	8	6	5
満足している	126	16	31	39	40
満足していない	27	3	6	13	5
拒絶された	6	0	2	1	3
合計	178	19	47	59	53



企業の人員別に見ると、「50人以上」では満足度が 94.4%と高く、人員数が少なくなるにしたがって満足度が低くなっており、逆に、「満足していない」の割合が高くなっている。

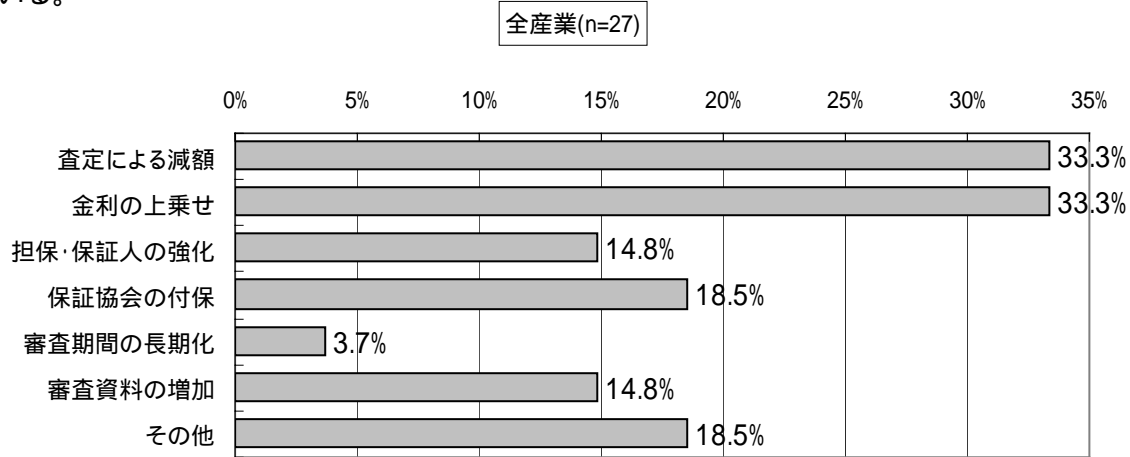
	1～9人	10～19人	20～49人	50人以上	合計
非常に満足している	3	5	8	3	19
満足している	21	34	37	31	123
満足していない	8	10	5	2	25
拒絶された	1	3	1	0	5
合計	33	52	51	36	172



**満足していない理由について【複数回答】**

( 〇 の問で「満足していない」と回答した企業からの回答)

満足していない理由として、「金利の上乗せ」、「査定による減額」が 33.3%と最も多くなっている。

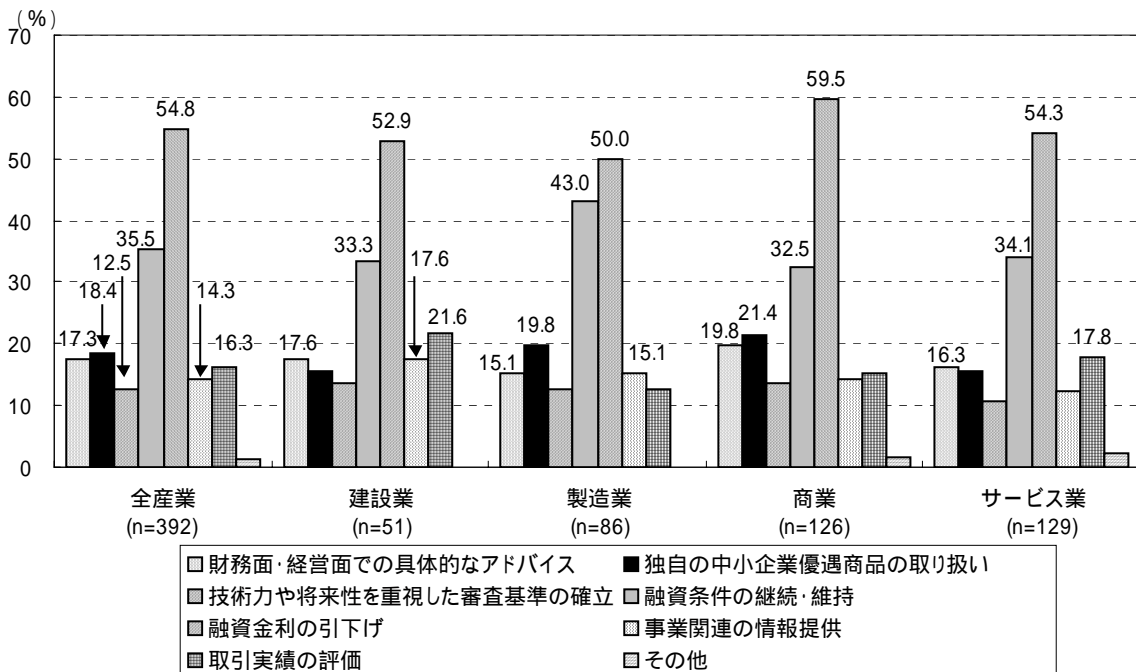


**今後の金融機関に望むことについて【複数回答】**

全産業では、「融資金利の引下げ」(54.8%)が最も多く、次いで「融資条件の継続・維持」(35.5%)、「独自の中小企業優遇商品の取り扱い」(18.4%)となっている。

産業別で見ると、全ての業種において、「融資金利の引下げ」、「融資条件の継続・維持」が上位を占めており、特に、「融資金利の引下げ」は全業種で5割を超えており、ニーズが高い。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
財務面・経営面での具体的なアドバイス	68	9	13	25	21
独自の中小企業優遇商品の取り扱い	72	8	17	27	20
技術力や将来性を重視した審査基準の確立	49	7	11	17	14
融資条件の継続・維持	139	17	37	41	44
融資金利の引下げ	215	27	43	75	70
事業関連の情報提供	56	9	13	18	16
取引実績の評価	64	11	11	19	23
その他	5	0	0	2	3
回答企業数	392	51	86	126	129

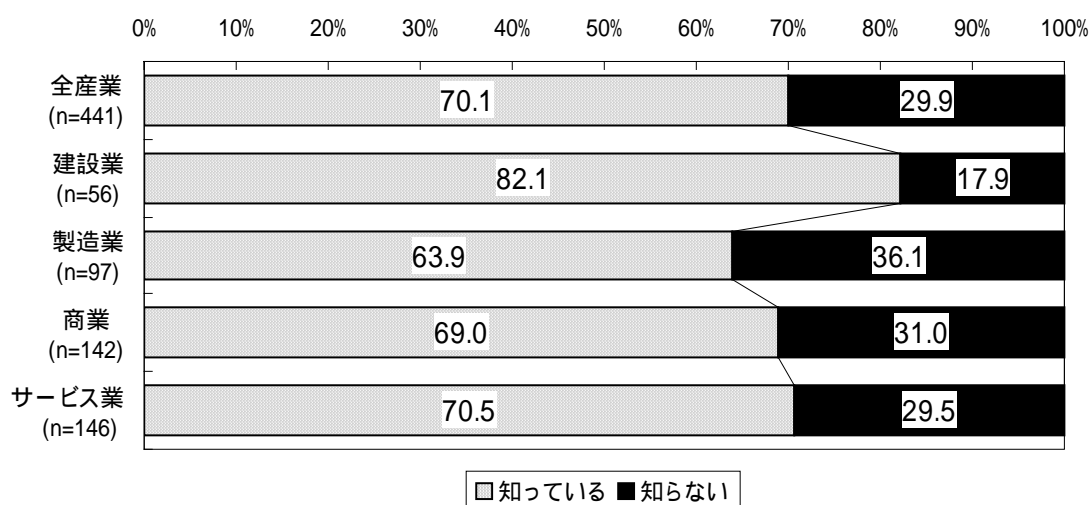


【平成20年11月10日から実施されている中小企業向け県融資制度「資金繰り安定資金(緊急対策枠/新設)・経営支援資金(セーフティ枠/拡充)」(以下、新融資制度)について】  
新融資制度の周知度について

全産業では、「知っている」が70.1%、「知らない」が29.9%となっており、新融資制度について多くの企業で周知されている。

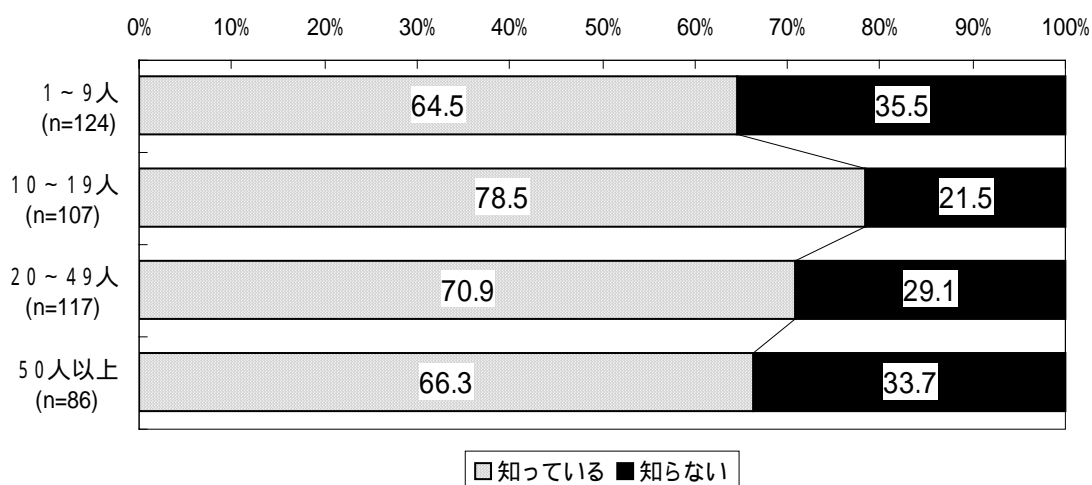
産業別で見ると、新制度融資を「知っている」企業が、建設業で82.1%と最も多くなっているが、製造業では63.9%と他の業種に比べ周知度が低い。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
知っている	309	46	62	98	103
知らない	132	10	35	44	43
合計	441	56	97	142	146



企業の人員別に見ると、新融資制度の周知度は「10～19人」で78.5%と最も高く、「1～9人」で64.5%と最も低くなっている。

	1～9人	10～19人	20～49人	50人以上	合計
知っている	80	84	83	57	304
知らない	44	23	34	29	130
合計	124	107	117	86	434



## 新融資制度を知った経緯について

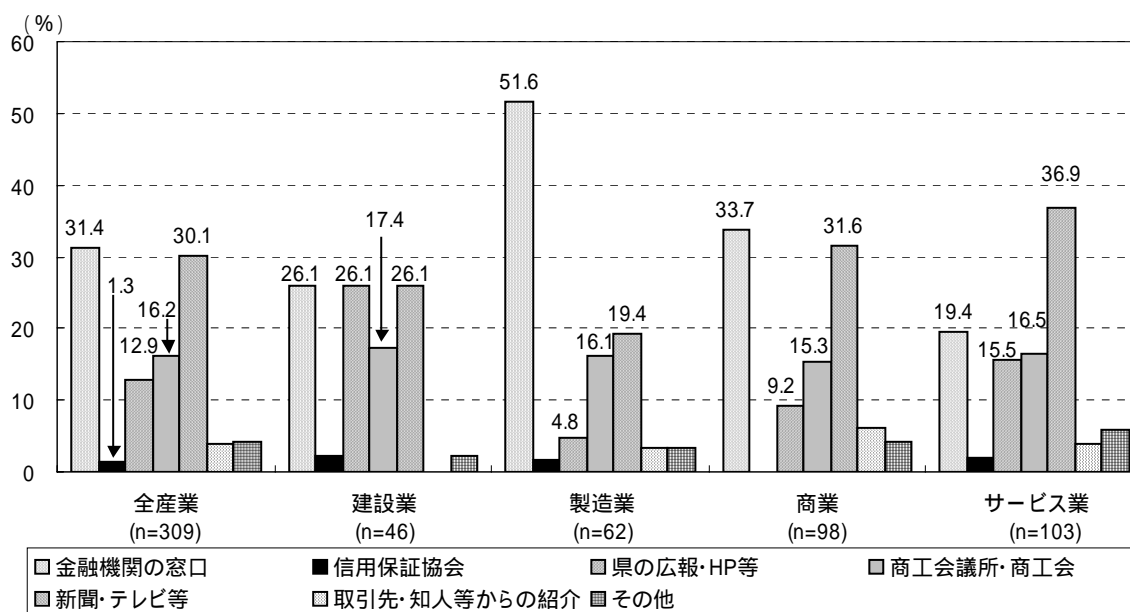
### ( の問で「知っている」と回答した企業からの回答)

全産業では、「金融機関の窓口」が31.4%と最も多く、次いで「新聞・テレビ等」が30.1%、「商工会議所・商工会」が16.2%、「県の広報・HP等」が12.9%となっている。

産業別で見ると、製造業では「金融機関の窓口」が51.6%と際立って多く、サービス業では「新聞・テレビ等」が36.9%と最も多くなっているなど、業種によってバラツキが見られる。

また、その他の回答として「所属協会」や「県会議員からのメール」などがあつた。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
金融機関の窓口	97	12	32	33	20
信用保証協会	4	1	1	0	2
県の広報・HP等	40	12	3	9	16
商工会議所・商工会	50	8	10	15	17
新聞・テレビ等	93	12	12	31	38
取引先・知人等からの紹介	12	0	2	6	4
その他	13	1	2	4	6
回答企業数	309	46	62	98	103

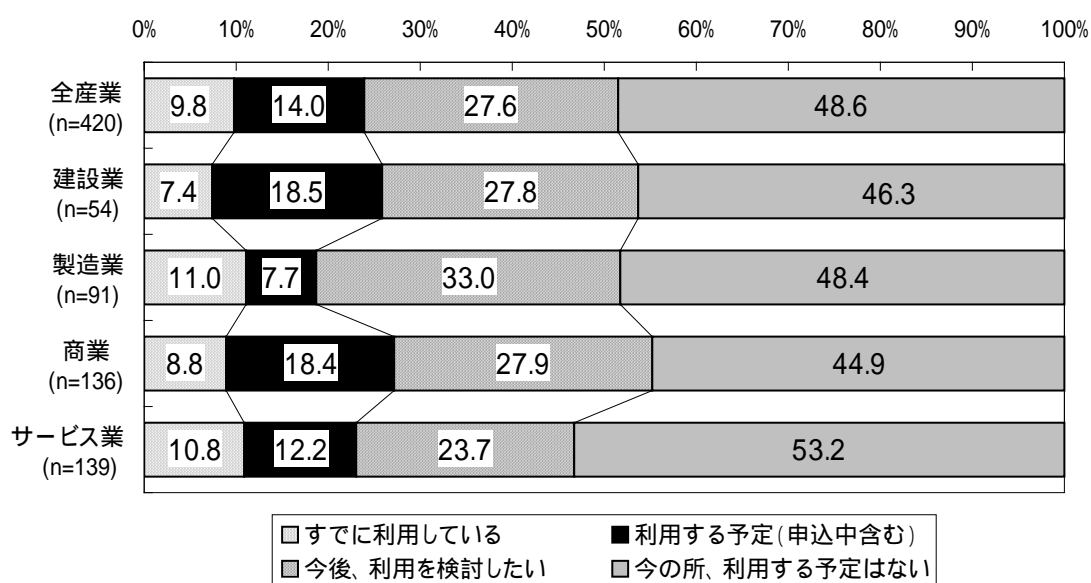


## 新融資制度の利用状況について

全産業では、「今の所、利用する予定はない」が48.6%と最も多くなっている。一方で、「すでに利用している」は9.8%、「利用する予定(申込中含む)」又は「今後、利用を検討したい」と回答した今後の利用に前向きな企業は、41.6%となっている。

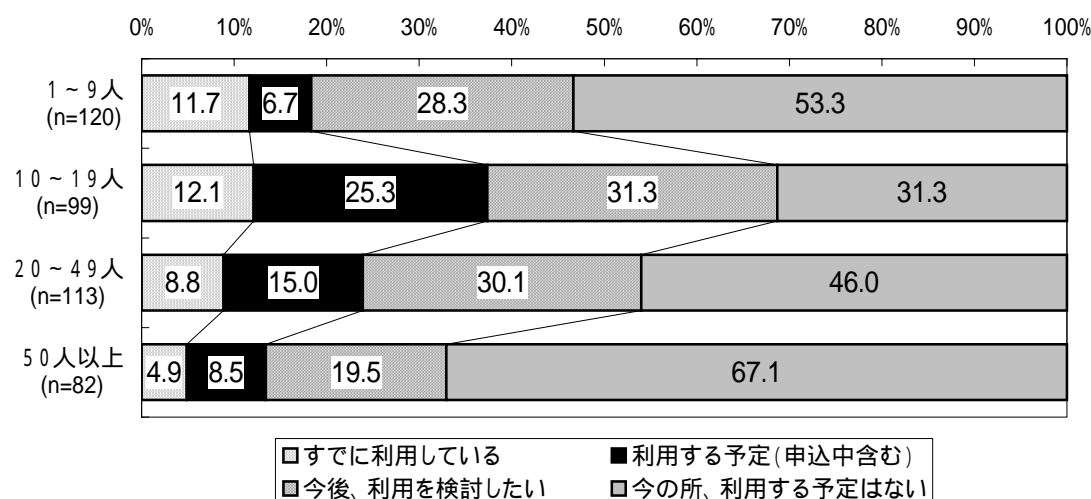
産業別で見ると、今後の利用に前向きな企業は、建設業、商業で46.3%と最も多く、次いで製造業で40.7%、サービス業で35.9%となっている。

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
すでに利用している	41	4	10	12	15
利用する予定(申込中含む)	59	10	7	25	17
今後、利用を検討したい	116	15	30	38	33
今の所、利用する予定はない	204	25	44	61	74
合計	420	54	91	136	139



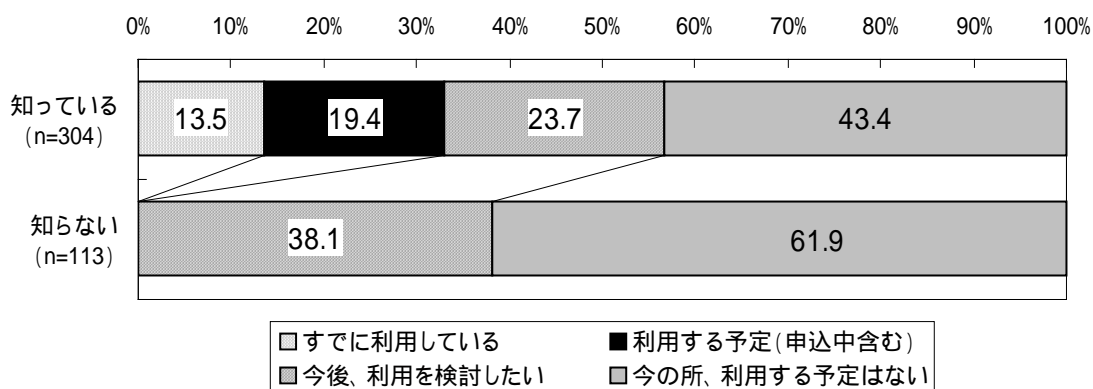
企業の人員別に見ると、今後の利用に前向きな(「利用する予定」又は「利用を検討したい」)企業が、「10~19人」で56.6%と最も多く、「50人以上」で28.0%と最も少なくなっている。

	1~9人	10~19人	20~49人	50人以上	合計
すでに利用している	14	12	10	4	40
利用する予定(申込中含む)	8	25	17	7	57
今後、利用を検討したい	34	31	34	16	115
今の所、利用する予定はない	64	31	52	55	202
合計	120	99	113	82	414



新融資制度の利用状況を周知別に見ると、「知っている」と回答した企業では、56.6%の企業が利用もしくは利用を検討している。また、「知らない」と回答した企業でも、今回のアンケートによって、「今後、利用を検討したい」企業が38.1%となった。

	合計	すでに利用している	利用する予定 (申込中含む)	今後、利用を検討したい	今の所、利用する予定はない
知っている	304	41	59	72	132
知らない	113	0	0	43	70
合計	417	41	59	115	202



## おわりに

今回の調査では、最近1年間における借入金額について、「増加している(28.5%)」が「減少している(23.6%)」を4.9ポイント上回っている。また、最近6ヶ月間に借入の申込をした企業は40.6%であり、そのうち、8割を超える企業が借入について満足しており、人員数が多い企業ほど満足度が高くなっている。

一方、平成20年11月10日から実施されている和歌山県の中小企業向け新融資制度を知っている企業が70.1%となっており、周知度は高くなっている。しかし、新融資制度を知らなかった企業においても、今回のアンケートにより新融資制度の情報を知った結果、約4割の企業が「今後、利用を検討したい」と回答しており、借入の申込をする企業は、さらに増加すると思われる。

今後、この急激な景気減速局面を乗り切るため、中小企業への支援を含めたスピーディーかつ柔軟な経済対策への取り組みが喫緊の課題となっている。